

2018年6月6日

消費者動向調査 No.122「夏のボーナス使いみち調査」アンケート結果

当社の子会社である西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、本日、「消費者動向調査 No.122『夏のボーナス使いみち調査』アンケート結果」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2018年6月6日

消費者動向調査 No.122「夏のボーナス使いみち調査」アンケート結果

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、消費者動向調査を定期的に実施しています。
今般、西日本フィナンシャルホールディングス（社長 谷川 浩道）の子会社であるNCBリサーチ&コンサルティング（社長 光富 彰）と共同で、「夏のボーナス使いみち調査」を実施し、調査結果がまとまりましたので、概要をお知らせします。

記

「夏のボーナス使いみち調査」

調査時期：2018年5月
調査対象：福岡県内のボーナスがある家庭の500人
（うち男性242人、女性258人）
※ 今回より、調査対象者を男性・女性（従来は女性のみ）としたほか、調査方法をインターネットによるアンケート（従来は文書）回答方式に変更しています。

調査結果要約

- ◆ 今年の夏のボーナス、前年夏と比較して「多くなる」は5.9ポイント減少し15.2%。
(調査結果本文 2P)
- ◆ 夏のボーナスの使いみち予定、1位は「貯蓄」で51.2%。2位は「旅行・レジャー」で26.2%。
(調査結果本文 3P)
- ◆ ボーナスを貯蓄・運用する目的、1位は「将来の生活費補てんのため」で53.8%。2位は「老後資金のため」で31.1%。
(調査結果本文 4P)
- ◆ 夏のボーナスを貯蓄・運用する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が1位で、52.3%。
(調査結果本文 5P)
- ◆ 関心がある金融商品、1位は「預貯金」で前年の冬より12.9ポイント減少し58.6%。
(調査結果本文 6P)
- ◆ 夏のボーナス、自由に使える金額は、前年夏に比べて夫は8千円ダウン。妻は1千円アップ。
(調査結果本文 7P)

以上

調査結果本文は[こちら](#)

この調査に関するお問い合わせ先は
西日本シティ銀行 広報文化部 長谷川 TEL 092-461-1869
NCBリサーチ&コンサルティング 調査部 原 TEL 092-476-3051